

# ほけんだより

令和3年度  
さくら小学校  
保健室



保護者の方へ

## 学校での性教育について



「性教育」と聞くと、なんだかドキッとされる方がいらっしゃるかもしれません。「学校ではどんな性教育をしているの?」と、子どもに聞いてみたいと思うこともあると思います。(聞いてもあいまいな返事…なんてことも。)

今、文部科学省が学校の性教育について、とくに推進しているのは、「生命(いのち)の安全教育」です。これは、子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、2021年4月から推進し、拡大を目指しています。

そのため、保健指導の性教育では【子どもたちを性暴力の当事者にしない】ことを目的に、生命を大切にし、その尊さを学ぶ教育や、自分や相手を尊重する教育を目指して取り組んでいます。保健指導後のふり返りプリントは「けんこうのてびき」に貼っていますので、持ち帰った際にご覧ください。

その他、教科の学習においても性教育に取り組む機会があります。ご家庭で保健や生活、理科、道徳などの教科書を見ていただいたら参考になると思います。

保護者の方は、「何をどこまで教えたら良いのか?」迷われることがあるかもしれません。家庭では、性について話題にする機会はほとんどないか…と思います。特にお子さんが思春期になり、異性であれば、なおさらではないでしょうか。

例えば、ニュースで、いじめや性に関する犯罪、命が軽んじられる報道があった時は、そのニュースについて一緒に話す、保護者の方が学生だった時の経験や心の葛藤を折に触れて話す、新しい命の誕生の話があれば、生まれてきた頃の話をする、など…、話を共有する機会を増やすだけでも良いと思います。今は書店で、たくさんの性教育に関する本が売られています。ご家庭で保護者の方がおこなう性教育について書かれている本もあります。日頃の関わりの中で、性の話を特別なことと重くせず、成長の一過程として触れる機会があれば良いなと思います。

子どもたちが、自分のからだや命、性の多様性についてなど、正しい知識と基準をもっていれば、あふれる性情報に惑わされず、『本当に大切なのは何か』をきちんと判断する力につながります。またそれが性被害防止にもなります。そのためには、学校と家庭での性教育が非常に大切です。今後も、性教育に関する教育活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



# 二計測の保健指導(性教育)で学習したこと

今回は、文部科学省の推進する「生命(いのち)の安全教育」を踏まえながら、子どもたちが「性の多様性」と「自分らしさ」を大切にできる気持ちもてるよう取り組みました。このような学習は、発達段階に応じて、系統的に学習していくことが必要なので、今後も保健室では、学年に応じた性教育を進めていきたいと思えます。

今回の保健日よりでは、子どもたちがどんな学習をしたのか、簡単にご報告します。



## 1年生 《からだのちず》

大きな体の絵に、名前カードを貼っていき、答え合わせをしました。体の名称は1年生でもよく知っていました。服を着た髪の長い男の子と髪の短い女の子から、下着を脱ぐまで性別は分からないことを理解し、大事なところは隠す必要があることを学びました。水着で隠れる部分をプライベートゾーンと言うこと、自分の体も友達の体も大事にすること、叩いたり殴ったり、手を出して傷つけることはしてはいけないことを学習しました。



まとめ②

みずぎで かくれるところ  
じぶんだけの だいじなところ



↓  
プライベートゾーン



読んだ絵本

## 2年生 《じぶんのからだ》

他の人のプライベートゾーンは、見ない、触らない。

自分のプライベートゾーンを見せない、触らせない。

自分がされて嫌なことは他の人にもしない。嫌なことをされそうになったら、

①「いや!」「やめて!」とはっきり言う(大声で叫ぶ) ②逃げる ③(大人に)話す

ことを学び、絵本で確認しました。また、みんなは一人ひとり大事な命で、その命は両親・祖父母など、ずっと受けつながらてきたもの、大切に育てられてきた存在であり、

自分の体と同じように、周りの人・友達の体も大切にすることを学びました。



みずぎでかくれるところは、みせたり、さわらせたりしないでね



いやなことをされそうになったら



じぶんのからだど おなじくらい



ほかの人の  
からだ⇒いのちもたいせつ

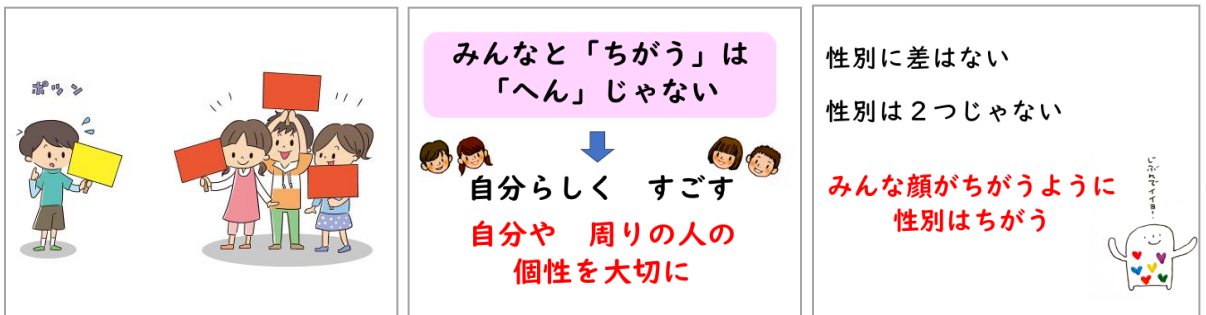
### 3年生 《大切ないのち》

「やってはいけない行動」を具体的に伝えることで、相手のプライベートゾーンに許可なく踏み込まないことを学習しました。相手を尊重し、大切にするためにも、男女関係なく、人として適切な距離をとることが必要であることを学びました。また2年生と同様に、プライベートゾーンに関する絵本を読み、いやなことをされそうになった時の取るべき行動について考えました。



### 4年生 《大切な体と心》

3年生と同様に「やってはいけない行動」を具体的に伝え、人との距離の必要性を学習しました。また、性の多様性を知る導入として、人はみんな他の人と違う部分を持っており、「周りの人と違う自分」を「変だ」と思わなくて良いし、自分と違う周りの人を「あいつは変だ」と決めつけないこと、違いを「自分らしさ」「その人らしさ」という『個性』として考えることを学習しました。



### 5年生 《いろんな性を知ろう》


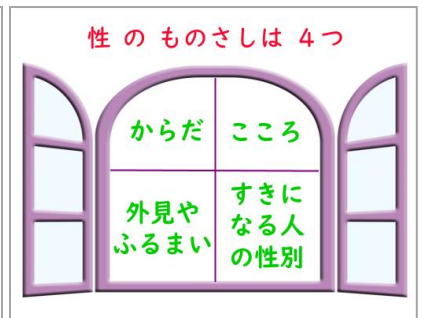
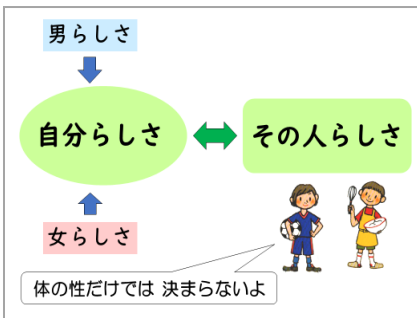
男だから「男らしく」、女だから「女らしく」しなければならないということはない、「自分や相手がどんな人か?」が大事であり、「自分らしく」あることが一番大切、友達や周りの人の「その人らしさ」を尊重することを学びました。また、性別を決めるには4つのものさしがあって、①体の性、②心の性、③表現の性、④好きになる人の性があることや、性別は一人ひとり顔が違いうように多様性があり、揺れ動くものであることを学習しました。



性別は なにで決めている？

↓

見た目（かみの毛、声、服そう）  
体のつくり

## 6年生 《いろいろな性を大切に》

5年生と同じく、性別は「男」と「女」の2つだけではなく、4つの「ものさし」で決まること、そして、性別はスパッと分けられるものではなく、グラデーションになっていて揺れ動くもので、多様性があることを学びました。また、自分や周りの人がどんな性（心）でも、それが自分であり、それが友達であること、お互いの性（個性）の違いをわかり合うこと、認めることが必要だと学習しました。

みんなが自分らしく過ごせる＝みんなが居心地の良い環境（クラス）になる、そしてそれは学校全体とつながっていくこと、これは多様性の社会を生きていくみんなにとって、とても必要な考えであると話しました。

魚の性別 は いろいろ



カクレマノミ  
キイロサンゴハゼ

生まれた時は全てで、ペアになった時に体の大きいものがメスに変わる。産卵する。クマノミのメスは、卵に卵を持ったままになっているなんてことがあるかもー

性別がはっきり来たりできる

3パターンは 何種類もの魚で確認済み

相手に「あなたは〇〇」と決めつけることはできない




正解も、普通も ない

性 → ↑ 生

心が生きる

おたがいの ちがいを  
わかりあう 認める



↓

みんなが自分らしくすごせる

## メディアライブラリーとのコラボ

司書の工藤先生が、授業や社会のできごとなどに合わせて、その都度、メディアライブラリー（図書室）前に本を展示してくださっています。今回は性教育の実施に関連して、「性の多様性」について関連する図書を紹介してくれています。図書ボランティアさんのご協力もあり、子どもたちは本から様々な知識を身につけてくれると思います。



「心が生きる」と書いて「性」。

性教育とは  
「性を通した生き方の学習」。

